

万博国際交流プログラム 交流計画の令和7年度取組状況

<内閣官房事業対象地域の一部※>

※ 内閣官房事業の対象地域を相手国とする交流計画のうち、令和7年度の事業費の申請を行わなかったもの。

令和8年 2月
内閣官房 国際博覧会推進本部事務局

本資料は、万博国際交流プログラムの登録自治体からの報告を基に、内閣官房国際博覧会推進本部事務局が取りまとめたもの。

- ・大阪府泉佐野市(ウガンダ)..... 3

泉佐野市交流計画の令和7年度取組状況報告

| | |
|--------|---------|
| 自治体名 | 大阪府泉佐野市 |
| 相手国・地域 | ウガンダ |

1 背景と目標等

ア 背景と目的
2017年にウガンダ共和国グル市と友好都市提携都市を締結し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会時におけるホストタウン事業を実施してきました。分断化が進む世界に、空港所在都市として外国人人口が増加する地域において、国際交流を促進し相互理解を深め、多様な価値観を認める地域づくりを目的とします。

イ 目標
ウガンダ共和国(以下「ウガンダ」)の方々と地域住人の理解・交流(文化・産業等あらゆる分野で)の促進。

2 - (1) 事業内容

【ウガンダの伝統・文化等の紹介】

①スケジュール (市民等へウガンダパビリオン運営スタッフ((ウガンダ国籍)以下「スタッフ」)によるウガンダパビリオンの紹介(市報7月号・行政情報番組9月後半)/ふれあい交流祭りによるウガンダの伝統・文化紹介(2025年11月23日))

②体制(パビリオンの紹介(スタッフ・本市の広報担当)/ウガンダの伝統・文化紹介(スタッフ・国際交流機関(ica)))

③内容

- ウガンダパビリオンの紹介
ウガンダ館は、「ウガンダ-アフリカの真珠、持続可能な未来」というテーマで、芸術品や工芸品、伝統衣装、太鼓、コーヒー豆などが展示されており、淹れたてのウガンダ・コーヒーの提供などがあり、それらを広報媒体で広く周知いたしました。本市では、万博会場への子どもの招待に加え、各町会、長生会など各種団体についても広く招待を行ったので、万博開催前に、市域でウガンダの文化等として市内で展示した資料の実物が見学でき、同様に展示したコーヒーが実際に飲めるといった機会を提供し、線的な展開としました。
- ふれあい交流祭りへの出展
「ふれあい交流祭り」(場所:国際交流基金関西国際センター)という各国からの留学生も多く参加する国際交流を目的とした催事に、ウガンダブースを設け、スタッフがウガンダの民族衣装カンズを着て、ウガンダの文化を紹介しました。ウガンダパビリオンの運営に携わったスタッフが、実際に地域の人々に、対話というより近い距離でウガンダの文化を紹介する機会となりました。

④効果 地域住民にウガンダの伝統・文化などを伝えることができ、国際社会への興味を惹起できた。

⑤当該事業において交流した交流相手の類型

- イ 万博参加国・地域の関係者

3 交流計画が掲げる目標に対する万博会期前、会期中、会期後を通じた交流の成果

万博開催前に、主に資料による展示でウガンダの国の概要・特徴に加えて、伝統・文化を紹介し、万博開催期間中には、ウガンダパビリオンを周知し、地域の人々を会場に招待することで、実際に体験もできる機会を提供し、会期後には、対話によってウガンダをより深く知ってもらう機会を提供しました。
浅く興味を持って頂いた方から、より深く知ってもらった方まで、地域においてウガンダに対する理解が広がったと考えています。

4 万博会期前、会期中、会期後を通じた交流を実施する中で良かった点、苦労した点

●良かった点

万博関係者、ウガンダ政府関係者、JICA等のネットワークが出来、今後、地域に展開するにあたってプラスとなりました。

●苦労した点

特にありません

5 大阪・関西万博を契機としたレガシー創造への寄与

地域への更なる理解促進のため、スタッフが、本市の国際交流員として、ウガンダへの理解を深めるために引き続き活動を行います。

6 次年度以降の取組を実施する上での課題

特にありません。



市報7月号 市長・在日ウガンダ大使パビリオン関係者



ふれあい交流祭り



ふれあい交流祭り